

授業科目名	小児看護	担当者	谷川 和子
単位	—		
時間数	22時間	学年	1学年
授業形態	講義	開講時期	後期
授業の到達目標	小児の特徴を理解し、小児看護の役割と機能を学ぶ。各疾患を持つ小児の生活の援助及び診療に伴う援助について学ぶ。		
授業の概要	小児看護の対象は小児および家族である。小児に出現する健康障害と健康問題が小児や家族に及ぼす状況である外来や入院、在宅について理解し、小児看護に必要な基本的姿勢や方法、看護技術について理解する。 小児の先天性疾患、後天性疾患、呼吸器、循環器、腎臓、運動器、代謝機能等の疾患についての看護を学ぶ。健康障害に直面した小児と小児の家族への支援の方法を学ぶ。		
授業計画	<p>第1章 小児看護概論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども・小児看護について</li> </ul> <p>第2章 小児看護の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健の動向</li> <li>・子どもの成長・発達と生理</li> <li>・子どもの栄養</li> <li>・子どもの養護としつけ</li> <li>・疾病の予防と予防接種</li> <li>・子どもの精神保健</li> <li>・子どもと社会</li> </ul> <p>第3章 子どもの診察と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気をもつ子どもの診療と看護</li> <li>・入院環境と患児・家族へのかかわり</li> <li>・小児看護の基礎技術</li> <li>・子どものおもな症状と看護</li> <li>・特殊な状態にある子どもの看護</li> <li>・救急看護</li> </ul> <p>第4章 小児疾患患児の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児疾患患児の看護</li> <li>・感染症、アレルギー、消化器、呼吸器、循環器、血液、腎泌尿器・生殖器、内分泌、代謝性、小児がん、神経・筋、皮膚、精神、整形外科、口腔外科、眼、耳鼻咽喉、膠原病・免疫、その他、疾患患児の看護</li> <li>・成長および発育の障害</li> </ul>		
テキスト	新看護学14 母子看護 医学書院		
評価の方法・基準	筆記試験(100点)		